



小倉 健一議員

デマンド交通(バス)事業
について

Q 4月からデマンドバスの本格導入と
いうことだが、登録、乗降方法など、
市民に分かりやすく周知徹底されるべき
と考える。当局の考えを伺いたい。

A 市民生活部長

デマンド交通は、これまでの路線運
行の利用方法と異なり、事前の登録と予
約が必要となります。こうしたことから、
事前に登録と予約がない場合、利用した
いときに利用することができませんので、
本市としても、登録、乗降方法の周知は
大変重要なことであると考えています。

今後は、広報紙や回覧などによる周知
に加え、町会の会議や高齢者の集まりな
どに職員が出向
き、利用方法につ
いての丁寧な説明
を行い、周知を図
りたいと考えてい
ます。

その他の質問
☆災害対応について
☆小中一貫校整備計
画による環境の変
化について



▲ 4月2日に運行を開始した、デマンド交通
「フルーツ吾妻線」の車両



鶴見 義明議員(日本共産党議員団)

教育行政について

Q 変形労働時間制というものは、公立学
校の場合、繁忙期の振替を夏休みに
まとめるようにするのが基本である。し
かし、教員にとって本当に夏休みとい
うのは閑散期なのだろうかという疑問があ
る。夏季休暇の先生方の勤務実態とい
うのは、どのような形の勤務になっている
のか。

A 教育長

夏期休業期間中の勤務形態は、通常
どおり7時間45分となっています。児童
生徒の登校はないものの、資質向上のた
めの研修会あるいは家庭訪問、教育相談、
個別の学習指導、職員会議、プール指導、
部活動指導等々を行
っているところです。
それゆえ、教職員に
とって、夏季休業期
間中における閑散期
は存在しないものと
認識しています。

その他の質問
☆台風第19号災害に
ついて



横井 帝之議員(新風)

児童・生徒の学習環境
について

Q ともに活動する交流及び共同学習は、
障がいのある子供にとっても障がい
のない子供にとっても、経験を深め、社
会性を養い、豊かな人間性を育むととも
に、互いを尊重し合う大切な学ぶ機会と
なる。交流授業等では35名を超える人数
で行うケースがある。きめ細やかな対応
を充実させるため、対応策として補助員
を2名にする提案をしたいが、見解を伺
いたい。

A 教育長

特に小学校低学年において、35名を
超える児童生徒のクラスに補助員として
2名を配置することは、児童生徒一人ひ
とりの学習活動の充実、教師のきめ細や
かな指導の実現という点から大変重要な
ことであると考えており、必要人数の確
保など、さらなる人
的環境の整備に向
け、県の教育委員会
にも要望したいと考
えています。

その他の質問
☆佐野市立小中学校
適正規模・適正配置
基本計画(後期計
画)について
☆佐野市子どもクラブ
運営委託について
☆台風第19号に係る
商工業への支援に
ついて